

平成18年9月7日

各 位

上場会社名：JFEコンテイナー株式会社
代 表 者 名：代表取締役社長 谷口 勲
本社所在地：兵庫県伊丹市荒牧字下鍵田10番地
コード番号：5907
上場取引所：大阪証券取引所 市場第二部
問 合 せ 先：企画部長 奥津伸司
電 話 番 号：03-3837-8201

日本製罐株式会社および彌生工業株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、平成18年9月7日開催の取締役会において、日本製罐株式会社および彌生工業株式会社との間で、18リットル缶事業に関する業務提携を行うことを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由
長年培ってきた3社の経営資源を活かして顧客サービスの向上に努め、事業基盤を強化し競争力を高めるため。
2. 業務提携の内容
・3社の商品開発協力により、顧客対応力等を向上させる。
・生産技術の交流等により、品質向上と生産の合理化を図る。
・東部地区の生産、販売の効率化のため、共同製造会社を設立する。
・副資材の購入、物流等の合理化を図る 等。
3. 提携会社の概要

(1)名称	日本製罐株式会社	彌生工業株式会社
(2)主な事業内容	18リットル缶、美術缶の製造・販売等	18リットル缶・4リットル缶の製造・販売等
(3)設立年月日	大正14年9月	昭和14年8月
(4)本店所在地	埼玉県さいたま市	神奈川県川崎市
(5)代表者	取締役社長 川俣清路	取締役社長 堀川博
(6)資本金	630百万円	14百万円
(7)従業員数	155名	58名
(8)大株主構成および 持株比率	伊藤忠丸紅鉄鋼 12.19% 新日本製鉄 9.05% みずほ銀行 4.94%	高波瀬隆志 25.20% 東洋鋼鈑 19.60% 伊藤忠丸紅鉄鋼 19.60%
(9)当社との関係	2002年より業務提携	特になし

4. 日程
平成18年9月7日 取締役会
平成18年9月7日 業務提携契約書締結
平成18年10月1日 事業開始日

- 5 今後の見通し
当社平成19年3月期の連結損益に与える、本業務提携の影響は軽微です。

以 上

業務提携基本合意の締結について

2006年9月7日

J F E コンテナ株式会社
日 本 製 罐 株 式 会 社
彌 生 工 業 株 式 会 社

J F E コンテナ株式会社（社長 谷口勲）と日本製罐株式会社（社長 川俣清路）および彌生工業株式会社（社長 堀川博）は、3社グループの18L缶事業（日本製罐、太陽製罐、J F E 製缶、彌生工業）をコア事業として、包括提携することに合意し、本日基本合意書を締結いたしました。

（合意の背景）

昨今の18L缶業界は、ユーザーの海外移転や、プラスチック・紙などの代替容器への変更等により継続的に需要が減少傾向にあるうえ、最近の原料・資材等の調達価格の大幅なアップにより、非常に困難な環境に立ち至っています。このような状況の中で、3社は業務提携の推進により、経営基盤をより磐石にし、永年培ってきた経営資源を活かし、顧客サービスの向上に務めることが今こそ必要であることで一致いたしました。

本提携は、従来のJ F E コンテナ株式会社と日本製罐株式会社で取り組んでいた、業界の枠組みを超えた業務提携を更に進めたものであり、3社グループは一体となって、新たな18L缶業界の健全な発展に向けて提携活動を進めていく所存であります。

（提携の目的）

このような認識のもとに、本合意にもとづいて次の事項に取り組みます。

- (1) 製品品揃えの拡大により、顧客便宜を向上させます。
 - (2) 3社の商品開発協力により、顧客ニーズ対応力・マーケティング力を高めます。
 - (3) 永年培ってきた生産技術の交流により、品質の向上と生産の合理化を図ります。
 - (4) 副資材の購入、物流等の合理化を図ります。
- これらにより、安定した経営基盤の確立をはかり、競争力を高めます。

（生産・販売の効率化）

上記の目的に従い、3社はそれぞれの東部地区の事業について、以下を内容とする、生産・販売の効率化を図ることといたしました。

ステップ1（共同製造会社の設立）

- 1）3社により、18L缶の共同製造会社を設立します（2006年10月1日発足）
- 2）3社は、従来通りJ F E 製缶、日本製罐、彌生工業として営業活動を継続します。
- 3）各社が受注した注文は一旦共同製造会社を集約し、共同製造会社より製造注文を各社の生産工場へ振分けます。

ステップ2（生産の集約）

- 1）3社の更なる生産効率化を図るため、共同製造会社は製造注文を日本製罐、彌生工業の各工場に集約します。
- 2）J F E 製缶千葉工場は07年3月末をもって休止します。
- 3）18L缶に対する技術サービスは3社の技術者が共同で対応いたします。

なお、3社は本提携の主旨に沿った連携の広がりを期待するところであり、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以上

本件の問い合わせ先

J F E コンテナ株式会社	企画部	奥津 伸司	TEL：03-3837-8201
日 本 製 罐 株 式 会 社	営業部	馬場 敬太郎	TEL：048-665-1642
彌 生 工 業 株 式 会 社		田中 明	TEL：044-266-2985

ご参考

1. 業務提携 当事会社の概要（連結ベース）

平成 18 年 3 月 31 日現在

(1)	商号	JFE コンテイナー株式会社	日本製罐株式会社	彌生工業株式会社
(2)	事業内容	ドラム缶、 高圧ガス容器等の 製造販売	美術缶の製造・販売、 18L 缶の製造・販売	18L 缶 / 4L 缶その 他ブリキ缶の製造・販 売
(3)	設立年月日	昭和 36 年 4 月	大正 14 年 9 月	昭和 14 年 8 月
(4)	本店所在地	兵庫県伊丹市荒牧字下 鍵田 10 番地	埼玉県さいたま市北区 吉野町 2-275	神奈川県川崎市川崎区 田町 3-10-6
(5)	代表者	取締役社長 谷口 勲	取締役社長 川俣 清路	取締役社長 堀川 博
(6)	資本金	2,365 百万円	630 百万円	14 百万円
(7)	発行済株式総数	28,675,000 株	11,600,000 株	280,000 株
(8)	株主資本	13,784 百万円	3,485 百万円	890 百万円
(9)	総資産	26,119 百万円	12,589 百万円	1,390 百万円
(10)	決算期	毎年 3 月 31 日	毎年 3 月 31 日	毎年 1 月 31 日
(11)	従業員数	521 名	155 名	58 名
(12)	主要取引先	日新容器(株) 横浜容器工業(株) 西部容器(株) 興亜産業(株) JFE 商事(株) 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)	明治乳業(株) 日本ペイント(株) 伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 三井物産(株)	新日本石油(株) ジャパンエナジー(株) 昭和シェル石油(株) 伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 富安(株)
(13)	大株主及び 出資比率	JFE スチール(株) 53.99% 伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 10.87% JFE 商事(株) 5.00% 京極運輸商事(株) 2.92% JFE エナジー社員持株会 2.76% (株)メタルワン 1.53%	伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 12.19% 新日本製鐵(株) 9.05% (株)みずほ銀行 4.94% 大宮中央 1 商店街協組 3.98%	高波瀬隆志 25.2% 東洋鋼鈑(株) 19.6% 伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 19.6% 水島成士 13.6%
(14)	主要取引銀行	(株)みずほコーポレート銀行 (株)三井住友銀行 農林中央金庫	みずほ銀行(株) (株)三井住友銀行 武蔵野銀行(株)	三菱東京 UFJ 銀行(株) (株)三井住友銀行 七十七銀行(株)

２．グループ会社（１８Ｌ缶関係）

（１）	当事会社商号	JFE コンテイナー株式会社	日本製罐株式会社
（２）	グループ会社商号	JFE 製缶株式会社	太陽製罐株式会社
（３）	事業の内容	18L 缶・特殊缶・変寸缶等の製造販売	18L 缶の製造販売
（４）	本店所在地	兵庫県伊丹市北河原 3-1-43	大阪府大阪市大正区三軒家東 3-10-33
（５）	代表者	取締役社長 今田 忍	取締役社長 棟安 義信
（６）	資本金	80 百万円	114 百万円
（７）	株主	JFE コンテイナー(株)100%	日本製罐(株)60% 伊藤忠丸紅鉄鋼(株)39%
（８）	売上高	3,836 百万円	2,306 百万円
（９）	従業員数	84 人	67 人

３．共同製造会社の概要

（１）	商号	未定
（２）	事業の内容	１８Ｌ缶の製造受注および製造委託
（３）	本店所在地	東京都中央区
（４）	代表者	千葉 賢太郎（JFE 製缶常務取締役を兼任）
（５）	資本金	２０００万円
（６）	出資比率	日本製罐株式会社 ４０％ JFE 製缶株式会社 ２５％ 彌生工業株式会社 ２５％ 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 １０％
（７）	売上高	１２億円規模
（８）	従業員数	若干名

以上